

実践記録 シリーズ 110

大人の常識講座～わたしたちの暮らしと司法制度～

上越市公民館 社会教育主事 野坂 公子

1 テーマの選定

テーマの設定にあたっては、趣味的な講座ではなく、自分たちの暮らしに関わる身近な課題や制度について学び、自分の暮らしを見つめ直す機会をもつことを目的としたいと考えていました。ちょうどテーマの設定を考えていた頃、国民が刑事裁判に参加する裁判員制度が新聞等で取り上げられており、自分が裁判員に選ばれたときに備えて、この制度について学ぶ機会を設け、また、日常的に起こりうる法律相談や金銭トラブルなどについても取り上げ、司法制度全体に関心をもっていただくよう、別表のように計画しました。この講座には15名の方からの参加がありました。

回	日程	内容
1	11月20日 13:30～16:00	裁判員制度について 開講・ビデオ「評議」・講話
2	11月27日 13:30～15:30	生活に身近な司法について 司法書士の仕事や相談事例について講話
3	12月4日 13:30～15:30	検察官の仕事と裁判員制度 ビデオ「裁判員制度」・講話
4	12月25日 13:30～15:30	実際の法廷の見学 裁判の傍聴・閉講

2 講座の様子

第1回目では、裁判員制度について、新潟地方裁判所高田支部より判事補を派遣いただき、PR用のビデオを観た後に、詳しい解説をしていただきました。

第2回目では、市内の司法書士の方から、司法書士の仕事についてのお話を受けた後、多重債務や高金利問題など、金銭のトラブルに関する事例、法律相談についてお話をさせていただきました。

第3回目では、検事の方から検察官の仕事についてお話をいただき、裁判員制度に関するビデオを観ました。

最終回では、実際の刑事裁判を傍聴し、裁判が実際にどのように行われているのかを、自分たちの目で見てきました。

3 参加者の声

全般を通し、講義の後には活発な意見交換が行われました。「判決が進むにつれて有罪・無罪が引っ繰り返るのは何故か」「重大事件でトラブルに巻き込まれるのが心配」といった裁判に関するものから、「法服の色にはどんな意味があるのか」といった、ちょっとした疑問も分かりやすく答えていただきました。

また、最終回の裁判の傍聴では、約1時間にわたって飲酒運転に関する裁判を見学し、検察官や弁護士と被告人のやりとりなどを実際に傍聴しました。裁判終了後、参加者からは「ものすごい重圧感だった」「傍聴席でも緊張したが、実際に裁判員の席に座ったらなお緊張しそうだ。制度を知らない人はたくさんいる。これからも多くの人に広めていってほしい」との感想をいただきました。



4 今後の展開

今回参加された方の中には、普段公民館活動に参加したことはないが、興味のあるテーマだったので参加したという方や、今後も目新しい講座をやってほしいという感想をいただきました。報道機関からは、「何故公民館でこのようなテーマを取り上げたのか」という質問を受けましたが、公民館だからこそ生活する上での課題の学習、問題解決に向けての提言を行っていきたいと考えています。様々な場所で学習活動が行われている中で、公民館でしかできないような学習内容を今後も展開していきたいと思えます。